

幼保連携型認定こども園「松陽こども園」

令和6年度事業計画

園長：森 都 / 教頭：大西 千鶴

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

「心身ともに健やかな子ども」

げんきなからだ・やさしいところ・がんばるちから

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

●人事計画目標

- ・OJTの実施により若手職員を育成する。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講を勧め一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・職員育成・評価シートを活用し自己の役割を振り返ると共にキャリアフレームに基づいた意識の向上を図る。
- ・優秀な人材確保に向けて実習生を積極的に受け入れ、細やかな対応や指導に努める。
- ・園内研修、公開保育(園内外)、研究内容に関する研修(和泉美智枝講師)を活かし園全体で質の高い保育を目指す。

●収支計画目標

- ・定員を守り加算などによる収支の安定を図る。

●業務の改善・働き方改革

- ・業務効率化のためICT化の推進を積極的に行い、働き方改革への意識を園全体で共有する。
- ・職員の協働性を養うため、職制の違いによる職務の内容を明確にする。また、「お互いを思いやる気持ち」を持った関係性の醸成を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・6年度研究発表を機会に当園の保育の課題を見直し、子どもたちの興味、関心の持続から「探求」につながっていく遊びを見つめる。つながる保育(プロジェクト型保育)から育まれることを保育記録から振り返り職員間での対話を重ねる。
- ・クラスの枠を越え職員全体で子ども一人一人の育ちを支える保育を目指す。

●食育計画

- ・食を通して、食べる喜び、たのしさ、おいしさを感じ健やかな心と身体を育む。
- ・さまざまな食育活動の中で子どもたちが人や食材とふれあい自然の恵み、調理する人への感謝の気持ちや食と生命の関わりを知り、命を大切にする気持ちを育む。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、病気の予防など必要な活動を推進する。
- ・園内の環境衛生を整え、感染症の予防をする。

●子育て支援計画

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供を行う。
- ・支援の必要な親子の把握に努め、地域子育て支援の充実を図る。(育児相談・一時預かり・プレ保育)

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の強化を図る。
- ・地域の方々(畑の先生他)との交流活動を持続し充実させる。
- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。
- ・情報誌を作成し、地域に開かれた園として情報発信を積極的に

行う。

●小学校との接続・連携

- ・小学校との交流会、授業見学などを通して情報交換を密にし、小学校と園との関係性を構築する。
- ・小学校による園の行事見学(運動会・発表会)を通して、幼児教育への理解を深める機会を設ける。

●外国籍児童支援

- ・ブラジル国籍児にはポルトガル語の担当専任職員を配置する。ブラジル国籍以外児(中国籍・ベトナム籍)には翻訳機能を使って通訳を行う。異文化理解のもとに外国籍児童支援する。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国籍児童支援事業	適用あり	実施

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	116,000円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施予定
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	190,000円/年	前年実績
住居支援事業		利用予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	155
				5	5	5	15	
2号				29	24	17	70	139
				29	24	17	70	
3号	16	26	28				70	(89.7%) 対前年 ±0
	6	22	26				54	

幼保連携型認定こども園「月津こども園」

令和6年度事業計画

園長：荒井 早苗

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

心身ともに健康な子ども 自然を大切にする子ども

自分で考えて行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画	太陽光発電装置設置工事				

<備考>

子どもの安全と環境を整える。(補助事業助成金を有効活用)

●人事計画目標

- ・キャリアアップ研修等の計画的受講
- ・園内研修、公開保育、カンファレンスを生かした資質向上

●収支計画目標

- ・地域の実情に合わせ利用定員とする。(125名→105名)
- ・適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・小学校以降の発達を見通しながら教育及び保育において「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」遊びを通して一体的に育てていく。
- ・環境を整備し、子ども一人一人の主体性を尊重し、受容的で応答的な関わりを行う保育を心がけていく。
- ・広い園庭、地域の自然などを活用し、多様な木々、草花・生き物など子どもたちが気軽に自然とふれあい、五感で感じる環境づくりを大切に子どもが夢中になって遊べる環境を目指していく。

●食育計画

- ・様々な食の経験から食の大切さや楽しさを知り豊かな心を育む。
- ・食事のマナーを身につける。
- ・お味見当番を経験し、食のプロセスに関わり、五感を引き出し、興味を持つ。また、食を味わい、表現し、友達や家族に伝えることで感覚が豊かになっていく。

●保健衛生計画

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進に努める。
- ・疾病等(体調不良児・感染症対策)への対応。引き続き、感染症対策の徹底。家庭への協力等も随時発信していく。
- ・子どもたちに向けた健康支援を行うことにより、自分の体や健康に興味・関心を持てるようにする。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・地域の子育て家庭への支援。情報紙の配布。

●地域との連携

- ・災害時における月津校下との協体制を固める。結ネットの効果的利用。月津校下の防災士連絡会に参加し情報共有。防災士による講話(園児、職員対象)
- ・地域の方との交流活動の充実。
- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。(結ネットで発信)

●小学校との接続・連携

- ・小学校とは交流会、授業見学などを通して連携を図り、更なる関係性を構築していく。
- ・校長との情報交換を密にする。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用あり	実施

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	103,000円/年	前年実績
保育環境支援(障碍者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	153,000円/年	前年実績
住居支援事業		利用なし

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	105
				2	6	6	14	
2号				15	15	15	45	▲20
				15	16	11	42	
3号	15	15	15				45	(91.4%)
	1	16	23				40	

幼保連携型認定こども園「中海こども園」

令和6年度事業計画

園長：清水 啓子

★中長期計画

●教育保育目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- ・健康で心豊かな子ども
- ・感性豊かな子ども
- ・思いやりのある優しい子ども
- ・自分で考え、進んで行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

<備考>

●人事計画目標

- ・正規総合職の確保(新卒採用を含む)
- ・保育補助者、アルバイト学生の雇用促進

●収支計画目標

- ・保育ニーズを捉え、利用定員を75名から65名に変更する。
- ・無理、無駄なく計画的な予算執行に留意する。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもの主体性を生かした教育・保育および日常的な異年齢による教育・保育を推進する。また、これらの研修や実践を通して人材育成を図る。
- ・地域の環境や人材を生かした教育・保育を推進する。

●健康支援

- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態の把握、一人一人の健康の保持及び増進を進める。
- ・疾病や感染症等への対応（体調不良児、感染症対策、個別ケア等）を家庭と協力・連携しながら徹底する。

●食育の推進

- ・野菜栽培や調理等、食に関わる体験を積極的に取り入れるとともに、地元で採れた野菜の提供を心がけ、食や食材に関する興味や関心、感謝の気持ちを育む。

●子育ての支援

- ・子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。
- ・支援の必要な親子の把握に努め、地域子育て支援の充実を図る。(育児相談、一時保育やプレ保育、情報誌発行、子育て親子の交流の場の提供など)

●地域との連携

- ・教育保育に地域との交流活動や地域の環境資源を取り入れる。地域文化の継承（仏御前、剣舞）を大切にする。
- ・福祉、食育、環境、防災その他で地域の各種団体との連携を図る。

●小学校との連携・接続

- ・年長児の小学校生活への不安をやわらげ期待を持てるように小学生との交流を図る。
- ・小学校の先生にこども園の理解を深める機会を設ける。
- ・園長と小学校長間の情報交換を図る他、園と小学校が互いに関係者評価者となり、自己評価結果を通して互いの教育・保育に理解を深める。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	副園長・教頭配置、外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	82,000円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	92,000円/年	前年実績
住居支援事業		利用なし

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	65
				6	3	5	14	
2号				8	8	8	24	▲10
				6	6	8	20	
3号	6	9	11				26	(93.9%)
	1	15	11				27	

幼保連携型認定こども園「蓮代寺こども園」

令和6年度事業計画

園長：片桐 真二 / 教頭：宮越 洋美

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

- 「健康な心と体」
- 「あふれる意欲と好奇心」
- 「豊かな感情と道徳性」

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

●人事計画目標

- ・幼稚園教諭免許取得、保育士資格取得の推進。
- ・処遇改善加算Ⅱの効果的運用による人材育成と組織力向上。
- ・職員研修規程の積極的運用、キャリアパスフレームに基づいた職員一人一人の資質向上とキャリアの構築。
- ・OJTの実施による若手職員の育成。

●収支計画目標

- ・園児数の確保と職員の適正配置による運営及び加算、補助金の確保。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子ども一人一人の、周りの大人への信頼感や自分への自己肯定感といった心の土台(安全)を育み、環境を通して考え意欲を持って主体的に活動し、試行錯誤を繰り返す中で(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性・人間性を育てていく(積善)子ども主体の活動により、学びに向かう力(意欲・好奇心・協調性・粘り強さなど)を育む。
- ・スマイル農園での活動を通して、収穫の喜びや自然の移り変わりなど、様々な感動を十分に得られるようにする。
- ・持続可能な社会作りの担い手として、生活や遊びを通じた身近な体験や活動(ESD)から、SDGsの目標を目指そうとする意識の芽生えを育む。

●食育計画

- ・発達段階に応じた豊かな食の体験を重ねることにより、一人一人の子どもの食を営む力を育み、豊かな心と体を育てる。
- ・年齢に応じた食事のマナーを身につける。
- ・様々な体験を通して、自然の恵みと食に携わる人への感謝の気持ちを持って食事を味わう。
- ・地元で採れた野菜の提供等、地産地消を推進する。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、より健康な生活を送ることができる意欲と実践力を育てる。
- ・感染症等の予防に努め、子どもたちへの指導や家庭への積極的な情報発信による協力の呼びかけ等を行う。

●子育て支援計画

- ・保護者との相互理解のもと、子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上を支援する。
- ・地域の関係機関等と連携及び協働し園体制の構築に努める。
- ・子どもと保護者のニーズに応えた多様な事業・活動の展開(体調不良児対応型、預かり保育、障害児保育、一時預かり事業、保育参加等)
- ・地域の子育て支援センターとしての機能を果たす。(子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て家庭や妊婦の相談と援助、地域の子育て関連情報の提供)

●小学校との連携・接続

- ・学校見学、交流会(1年生)、連絡会等により積極的に連携を図る。

- ・小学校教諭の保育見学や「10の姿」を中心とした話し合いにより、幼児教育への関心と理解につなげる。

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築。
- ・地域の方々との交流活動の充実及び地域文化の継承。(蓮代寺太鼓・がめつき音頭他)
- ・情報誌を作成・配布し、園の取り組みを積極的に発信していく。
- ・施設や設備を有効活用した地域の高齢者等との交流。(買い物バス:スマイルサポートの運行・スマイル農園の運営管理)

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費
	未実施	除雪費、降灰除去費、栄養管理
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独保育事業等実施予定

元気っ子こまつ	91,000円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブツキーランド協賛支出	117,000円/年	前年実績
住居支援事業		利用予定

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	85
				3	5	5	13	
2号				11	11	11	33	81
				13	8	14	35	
3号	10	12	15				37	(95.3%) 対前年 ▲5
	2	15	16				33	

大和こども園分園「やぎき乳児保育園」

令和6年度事業計画

園長：池田 巧(兼務)

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・豊かな感性をもった子ども
- ・心やさしく思いやりのある子ども

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

●人事計画目標

- ・職員研修規程の積極的運用により資質向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講等により、職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・園内研修及びカンファレンスを通して専門性を高める。
- ・幼稚園教諭免許取得、保育士資格取得の推進。

●収支計画目標

- ・園児数の確保と適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●保育計画

- ・健康で安全な環境を整えて子どもの様々な欲求を満たし、子ども一人一人が安心して過ごせるようにする。
- ・家庭的な雰囲気の中で一人一人の子どもとの温かいふれあいを大切に、心地よく過ごせるようにする。
- ・身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、様々な体験を通して、感じたことや考えたことを表現する力の基礎を培う。
- ・受容的、応答的な関わりの中で愛着関係を形成し、人に対する愛情や信頼感、生きる喜びを育む。

●食育計画

- ・家庭と連携しながら個人差に応じて授乳、離乳を進め、健やかな発育、発達を促す。
- ・安定した生活リズムの中で様々な食品や調理形態に慣れ、食べることの喜びを感じられるようにする。
- ・様々な食育活動を通して食に関心をもち、自ら意欲的に食べようとする力を育てる。
- ・地産地消を心がけ、安心、安全な食を提供する。

●保健衛生計画

- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態を把握し、園児一人一人の健康の保持及び増進に努める。
- ・園内の衛生環境を整え、疾病や感染症対策を適切に対応していく。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・地域の子育て家庭への支援を行っていく。(交流の場の提供、育児相談や情報提供等の援助、離乳食等の栄養相談、子育てに関する育児講座等の実施)

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等 I
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善等 II/III、冷暖房費
	未実施	療育支援、除雪費、降灰除去費、栄養管理
	3月事業報告	施設関係者評価、施設機能強化推進、

●小松市単独保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	実施
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	58,000 円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000 円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	25,000 円/年	前年実績
住居支援事業		利用なし

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	合計
	6	9	5	20 対前年 ±0
3号	1	7	1	10 (50%) 対前年 ▲6

幼保連携型認定こども園「湯野こども園」

令和6年度事業計画

園長：堂前 弘美 / 副園長：太田 一美

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

「心も体も元気な子ども」「感性豊かで意欲ある子ども」

「関わる力と思いやりのある子ども」

●施設整備計画(予算単位：千円)

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画	園舎実施設計 園舎新築工事	園舎新築工事・ 完成			

<備考>

・園舎の老朽化による移転新築にかかる設計及び工事を実施するもの。

●人事計画目標

- ・幼稚園教諭免許状取得、保育士資格取得の推進。
- ・処遇改善加算Ⅱの効果的運用による人材育成と組織力向上。
- ・職員研修規程の積極的運用、キャリアアップ研修の計画的受講等により職員一人一人の資質向上とキャリアの構築。特に有期雇用職員のキャリアアップ研修受講の推進を図る。

●収支計画目標

- ・職員の適正配置による運営及び加算、補助金の確保に向け職員の途中採用を積極的に進める。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子ども一人一人の、周りの大人への信頼感や自分への自己肯定感といった心の土台(安全)を育み、環境を通して考え意欲を持って主体的に活動し、試行錯誤を繰り返す中で(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性・人間性を育てていく(積善)子ども主体の活動により、学びに向かう力(意欲・好奇心・協調性・粘り強さなど)を育てる。
- ・近隣の環境に積極的に関わり、四季折々の自然を思う存分体験し、五感を育み、学びを深める。
- ・持続可能な社会作りの担い手として、生活や遊びを通じた身近な体験や活動(ESD)から、SDGsの目標を目指そうとする意識の芽生えを育む。

●食育計画

- ・発達段階に応じた豊かな食の体験を重ねることにより、一人一人の子どもの食を営む力を育み、豊かな心と体を育てる。
- ・年齢に応じた食事のマナーを身につける。
- ・様々な体験を通して、自然の恵みと食に携わる人への感謝の気持ちを持って食事を味わう。
- ・地元で採れた野菜の提供等、地産地消を推進する。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、より健康な生活を送ることができる意欲と実践力を育てる。
- ・「保育所における感染症対策ガイドライン」にのっとり必要な対策を行う。また、子どもたちへの指導や保護者への積極的な情報提供・発信による注意喚起・協力依頼を行う。

●子育て支援計画

- ・保護者との相互理解のもと、子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上を支援する。
- ・地域の関係機関等と連携及び協働し園の支援体制の構築に努める。
- ・子どもと保護者のニーズに応えた多様な事業・活動の展開(体調不良児対応型、預かり保育、障害児保育、保育参加等)
- ・地域の子育て支援の機能の充実。(子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て家庭や妊婦の相談と援助、地域の子育て関連情報の提供)

●小学校との連携

- ・学校見学、交流会、連絡会等により積極的に連携を図り、協力体制をさらに深める。
- ・小学校教諭の保育見学や「10の姿」を中心とした話し合い等により、幼児教育への関心と理解、接続につなげる。

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築。
- ・地域の方々との交流活動の充実及び地域文化の継承。(九谷焼体験他)
- ・情報誌を作成・配布し、園の取り組みを積極的に発信していく。

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	205
				3	5	1	9	
2号				40	32	28	100	179
				41	32	32	105	
3号	20	35	35				90	(87.3%)
	3	32	30				65	

放課後児童クラブ「芦城児童クラブ」

令和6年度事業計画

所長：田中 琴乃 / 主任：保田 雅代

★中長期計画(5ヶ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められる体験
- ・共感される体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

- ・優秀な人材の確保と育成
- ・キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上を目指す

★単年度事業計画

●生活環境を整える

子どもたちが安心安全に、活動できる場となるよう空間や設備、備品等の配置や構成を工夫する。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能になるように支援していく。

- ・学年に応じた行事の企画
- ・遊び仲間づくりへの援助
- ・縦割りのグループを作り上級生のリーダー性を育てる

●コミュニケーション力を高める

一人一人の違いを理解し、豊かに言葉を使って仲間と交わることができるように支援していく。

- ・こどもせんりゅう（表現力）
- ・ふれあいタイム（体を動かしての集団遊び）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上を目指し、自己研鑽に励み、研修に参加する。

- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

子どもに関する情報を家庭と共有することにより、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・コドモンを活用した、お便りやお知らせの配信、連絡のやり取りやアンケートの実施
- ・必要に応じた面談
- ・ホームページで毎月の児童の様子を知らせる

●学校・関係機関との連携

子どもに関する情報を学校と共有し、気になる子どもについては関係機関に相談し、適切な支援を実施する。

- ・学期ごとに学校との情報交換会を行う
- ・関係機関等による定期訪問

●地域との連携

地域に密着した行事を取り入れる

- ・縦割りグループごとに地域のお店でおやつを購入
- ・学校周辺のゴミ拾いのボランティアに参加する

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	芦城児童クラブ 1	芦城児童クラブ 2
・基礎(額)事業	児童数 45	児童数 45
・開設予定日数	年 291 日	
・長時間開設(平日)	7 時間/日超開所/30 分以上	
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中 8 時間以降開所/11.5 時間開所 (+3.5 時間)	
・障がい児受入促進(国・県)	1 名	1 名
・支援員等処遇改善	18 時 30 分以降開所と処遇改善実施	
・障がい児受入強化推進	1 名以上受入なし	1 名以上受入なし
・開所時間延長促進	12 時 00 分～19 時開所	
・キャリアアップ処遇改善	3 名	3 名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	芦城児童クラブ 1	芦城児童クラブ 2
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児 2 名以降 1 名	
・開所時間延長促進	12 時 00 分～19 時開所	

★定員と入所予定状況 (1/20 現在)

学年	定員等	芦城児童クラブ 1	芦城児童クラブ 2
		定員 45 名	定員 45 名
1 年生		20	20
2 年生		22	22
3 年生		20	20
4 年生		5	5
5 年生		0	0
6 年生		0	0
計		67	67

放課後児童クラブ「蓮代寺児童クラブ」

令和6年度事業計画

主任：西田みゆき

★中長期計画(5ヶ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められるという体験
- ・共感してもらえる体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

・経験年数やそれぞれの役割等キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上や児童クラブの運営の向上に向けて、人材育成を図る。放課後児童支援員認定資格の取得等

★単年度事業計画

- ・保護者との信頼関係の構築

●生活環境を整える

子どもが安心して過ごせる生活の場として、ふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら、子どもが自ら危険を回避できるように支援していく。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

子どもの発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全育成を図るよう支援する。

- ・子どもたちが主となる行事の計画
- ・季節に応じた行事の計画
- ・遊び仲間づくりへの援助

●コミュニケーション力を高める

子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助する。

- ・読み聞かせ（表現力・読む力・聞く力）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上をめざし、自己研鑽に励み、研修に参加する。

- ・毎日の打合せによる子どもに関する情報の共有
- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

常に保護者と密接な連携をとり、放課後児童クラブにおける子どもの様子を日常的に保護者に伝え、子どもに関する情報を家庭と共有することにより、保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・お迎え時の声掛け
- ・お便りの発行
- ・ホームページ、コドモンの活用

●学校・関係機関との連携

子どもの生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等によって子ども理解を深める。

- ・学校と年4回以上の情報交換会を行う
- ・関係機関等による定期訪問

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・基礎(額)事業	児童数 25名
・開設予定日数	291日
・長時間開設(平日)	6.5時間/日超開所/30分以上
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中 8時間以降開所/11.5時間開所 (+3.5時間)
・障がい児受入促進(国・県)	2名
・支援員等処遇改善	18時30分以降開所と処遇改善実施
・障がい児受入強化推進	3名以上受入なし
・開所時間延長促進	12時00分～19時開所
・キャリアアップ処遇改善	3名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児 2名以降
	1名
・開所時間延長促進	12時00分～19時開所

★定員と入所予定状況 (1/31現在)

学年	定員等	蓮代寺児童クラブ
		定員 25名
1年生		10
2年生		9
3年生		8
4年生		2
5年生		1
6年生		0
計		30

中高年齢者生涯学習講座「大和ぬくもり大学」

令和6年度事業計画

学長：朝岡 明美 / 館長：広川 保(兼務)

事務員(生活相談員)：布村 由里子

●成り立ち

昭和19年6月に大和善隣館が開設され、小松市における福祉と文化・教育の拠点施設として多彩な活動を展開してきた。また、小松市より「小松市中央老人福祉センター」事業を受託し、大和善隣館において管理運営。中高年齢者の健康、就労等の相談、健康増進や教養の向上などの生活福祉の向上に努めていく。

●大和ぬくもり大学の設置

近隣地域における健康な中高年齢層を対象にその生活の向上と改善をはかるため、「であい・ぬくもり・ささえあい」を目標に利用者の生きがい創出を目指して、「大和ぬくもり大学」を設置している。今年度も教養・文化・体育部門にかかわる14講座3クラブを開設する。(令和6年1月現在)。

★中期計画(5ヶ年計画)

●常勤職員1名体制へと変化したことにより、事業の自由性・拡張性は阻害されてきたが、この機会に講座の独立性と講師・受講生の自主性が発揮できる講座・クラブへと転換をはかってきた。

※主催講座の独立、講座→クラブへの変更など

●少子高齢化が進み、就業人口減少が叫ばれる現在、高齢者就業制度が推進され、定年70歳の時代がすぐそこまで迫っている。「大和ぬくもり大学」事業を継続の必要性と、維持できる体制構築を常に検討していく。

●相談コーナーについて

小松市中央老人福祉センター委託事業である中高年齢者の生活福祉相談について、これまで本部機能との共存で社会福祉主事等の配置を実施できたが、単独運営時の相談事業についての質の低下は免れない。昨今の相談件数の減少の中で、当事業の在り方を引き続き検討する。

●新事業展開

・芦城センターの空室状況とのマッチングを考慮しながら、新事業展開(講座、クラブ)を開講する。

●ICT化推進

高齢者の携帯電話→スマートフォンへの以降も進んでおり、モバイルメッセージアプリ「LINE」も普及している。講座利用者に「ぬくもり大学ライングループ」への登録で、講座の開催通知ホームページへのアクセス回数も増加し、情報連絡手段として活用されている。

●大和ぬくもり大学の講座

開設講座	講師名	開講日
料理	江前 恵子	第1.3(金)午前
社交ダンス	関 武弥	毎週(火・木)午後
茶道	大橋 みどり	第2.4(水)午前
俳句	有賀 三枝子	第2(木)午後
歴史	山前 圭祐	第4(木)午後
書道	有賀 虹萌	第1.3(水)午前
詩吟	辻 岳絢	毎週(金)午後
歌謡舞踊	千田 もと子	毎週(火)午前
水彩画	曾我 章	第1.3(火)午前
パソコン	出口 美子	第1.3(金)午前・午後
小さな水彩画	曾我 章	第1.3(木)午後
ぬくもりヨガ	中嶋 美雪	第2.4(金)午後
リズムダンス	水高 敦子	毎週(水)(金)午後 毎週(火)午後追加実施
加賀水引	水谷 絹代	第2(火)午前
合唱クラブ	朝岡明美・太田雪江 手取屋範子	第1.3(土)午前
囲碁クラブ		毎週(火)午後
歌謡曲クラブ		毎週(水)午後

本部事務局

令和6年度事業計画

事務局長：広川 保 / 代理：和田 博史

★中長期計画(5ケ年計画)

●法人理念の再確認

「善隣のこころ」

「いつでも どこでも そしてだれにでもわれ等善き隣人たらん」

先人が遺したこの想いを後世に伝えるために、その時代でのこの理念が持つ意味や価値を再考しながら、職員や児童・保護者等利用者に理解してもらえ事業を遂行していく。

●大和善隣館ブランドの浸透と確立

・近年のテーマとして大和善隣館ブランドの浸透と確立を1つ大きな軸(柱)として考えてきた。しかし、法人の事業規模が大きくなりながら、大和善隣館のブランドの浸透と確立が出来ていないと痛感する。如何にして【大和善隣館＝小松市能美市にて認定こども園・学童クラブを運営する法人】であると学生等に即座に認識してもらえる法人になれるか、今後もPRを続けていきたい。必ず実が結ぶ時が訪れると信じ、引続きブランド力の向上と認知度の周知に努める。利用者や求職者等から、教育保育施設と言え、まず最初に『大和善隣館』と選ばれる法人にブランディングしていきたい。

・今年度、法人創立80周年を迎える。併せて能美市にて新たに「湯野こども園」の運営をスタートすることから、記念すべき1年とできるように期する。また、令和3年4月1日より「法人名称」及び「法人拠点」も変更し新たな気持ちで船出を迎えたが、この新鮮な想いを常に忘れることなく、先人の功績の上に確かな足跡を残し、大和善隣館として、90周年、そして100周年と胸を張って迎えるように法人を導いていきたい。

●今後の事業展開

・近年県内自治体(金沢市、野々市市、能美市)の動向を注視しながら、法人及び職員の地力を蓄えてきた。そんな中、昨年春に能美市にて民営化施設の優先交渉権者募集の公募(能美市立「湯野保育園」及び「緑が丘保育園」)があった。慎重な応募の検討を行い、「湯野こども園」に絞り申請し、選定会を経て優先交渉権者に選ばれ、その後話し合いも重ね、移管先法人に決定した。当法人での開園に向けた検討・協議事項は多々あるが、令和6年4月1日からのスムーズな能美市からの事業継承を行い、こどもたちはもちろんのこと、保護者や地元地域より「大和善隣館が湯野地域にきて良かった」と言われるように、最大限の努力を惜しまずに、事業運営に努めるものである。また、令和7年度(予定)には新園舎建設(移転新築)が控えていることから、スケジュールに沿った計画的な対応を実施し、能美市とも協力しながら事業を推進していく。

・今後の方針は昨年策定した「法人中期計画(2030年ビジョン)」に沿った事業展開を適宜見直しも行いながら実施していく。以降については、少子化による急速な人口減少と団塊ジュニア世代が高齢者(65歳以上)となることで高齢者人口が最大となる問題「2040年問題」に直面することが想定されるため、子ども・若年層が減少するなかでの人材確保や、事業展開についてもこれらの諸問題を念頭に置き検討していかなければならない。地域の人口・世帯数の減少、地域に応じた福祉ニーズの相違等を考慮し、対応していきたい。

●奨学金貸与事業

・福祉人材育成の応援資金として「奨学金貸与規程」制定、「定款」での公益事業認可を経て事業を開始。

平成29年取組開始以降7年目を迎える。取扱件数は決して多くはないが、引続き多くの学生に利用していただきたいこと

から、今後についても奨学金制度の活用を促進すべく、引き続きPR活動を行ってきたい。特に企業実習に来てくれる高校生や県内在学生、出身学生への情報提供に注力する。

●職員採用・育成計画について(主に新卒者)

・令和4年度に法人内にてリクルートチームを立ち上げた。リーダーを筆頭に若手職員を中心にメンバー構成し、主に動画作成を実施した。これから保育業界を目指す学生やこども園に興味のある方々の何かためになる「きっかけ」や「ヒント」が得られる動画作成に取組んだ。YouTubeのチャンネル開設・一定数の動画配信も行ったので、来年度以降はチームとしての活動を一旦休止し、各施設にてYouTubeを活用した動画配信等の作成を行い、求職者等に向けたPR活動を引続き実施する。

・採用計画において、奨学金制度の活用のほか、法人職員からの紹介制度、「リファラル制度」の活用により、「優秀なキャリア人材」の採用に注力していきたい。

・キャリアパス規程に基づく、キャリアパスフレームの標準化と職員への周知徹底により、職員一人一人が自身のキャリアを長期的に捉えることにより、これが“事業の質”の向上につながるよう仕組みづくりと研鑽を行う。

●職員育成(主に中堅職員)

・本項目についてはここ2年間「育成計画」作成を目標に掲げていたが、今般計画の大枠(案)作成に取り掛かった。実際の運用は来年度以降を予定しているが、内容としては将来管理職を志す職員に対し、育成担当者(主に管理職)が具体的な「育成計画」に沿った対応を実施し、育成・養成を行う。もちろん管理職候補者を育てあげることが1番の目的であるが、人材育成も管理職にとっては重要な求められる業務または役割であることを再認識してもらおう。法人全体で職員育成に取り組むことによって、職員の層を厚くし、底上げを図りたい。

●SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)宣言に対する取組(能美市)

・当法人では令和3年4月1日に小松市においてSDGs宣言をした。今年度から運営地域が能美市にも広がることから、地元地域である能美市においてもSDGs宣言を行う。宣言する内容は、小松市同様に運営上最も該当するであろう6つのゴール(開発目標)に絞り宣言し、宣言だけで満足するわけではなく、達成年限である2030年に向け、あらゆる取組を実践していきたい。能美市独自の活動目標もあり、また違った観点から取組を実践したい。職員1人1人が意識して心掛けることが重要ではあるが、何よりこどもたちと一緒に学び、楽しみながら実践することが大切だと感じている。家庭においても親子の会話の中で、何かSDGsに触れるきっかけを作れるよう引続き取組んでいきたい。

●「いしかわ魅力ある福祉職場認定制度」認定更新

・平成30年4月1日に認定された「いしかわ魅力ある福祉職場認定制度」(有効期限3年間)の2回目の更新を迎える。本認定は人材の育成や安心して長く働くことのできる魅力ある職場づくりに取組んでいる事業所として石川県より認定され公表される。有効期限満了に伴い、再度更新申請を行ったが、(県より本来令和6年3月31日認定期限だが、令和7年2月28日まで有効期限延長の通知有)認定をいただくからには、少しでも多くの職員に働きやすい職場で安心して長く働きたいと思える法人になれるように引続き環境の整備に努めていきたい。

●法人創立80周年記念事業

・記念事業の一環として、法人本部所在地である小松市矢崎町に、モニュメント看板設置を行う。本場所には特段目立つようなシンボルがないため、看板を設置することによって併設する乳児保育園の場所もより認知されることも期待され、保護者や子育て支援室に来られる利用者の方々の目印にもなる効果を見込む。